

prop027-01 JPNICにおけるアドレス移転支援について

百崎 知 momomode@gmail.com

提案の概要

• IPv4アドレスをもっと有効活用するために、移転を容易にする施策の実施をJPNICに依頼する

APNICが実施する"Transfers Listing Service"
同等のサービスをJPNICでも行うことが望ましい

提案の背景

- •現在JPNIC指定事業者はJPNIC内の移転、APNICを経由した国際移転を行うことが出来る
- •移転件数も増加しており、IPv4アドレスが必要な状況は変わらない



- ・一方、不要になった等の理由で**返却**されているIPv4アドレスも一定量、存在している(歴史的PIなど)
 - 「不要な人」から「**必要な人**」へ移転を促進したい
 - IPv4アドレス資源をもっと**有効活用**したい

APNICでは

利用計画(network-plan)を作成



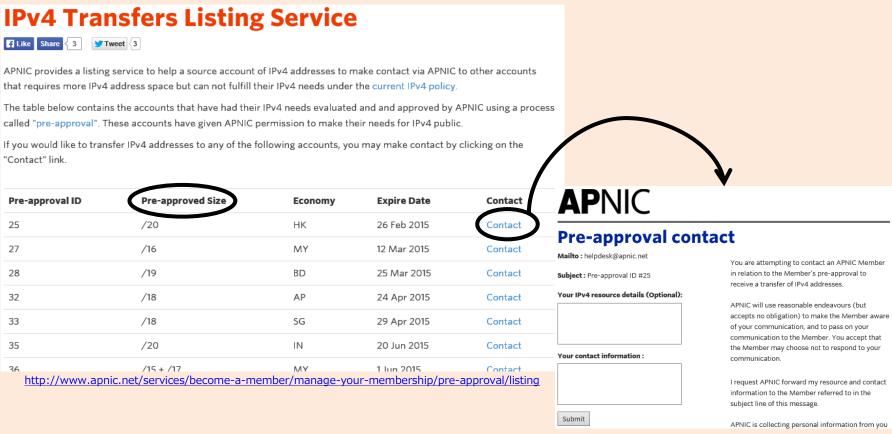
24か月後までの需要を確認、審査



移転の事前承認を「Pre-approval」として得る

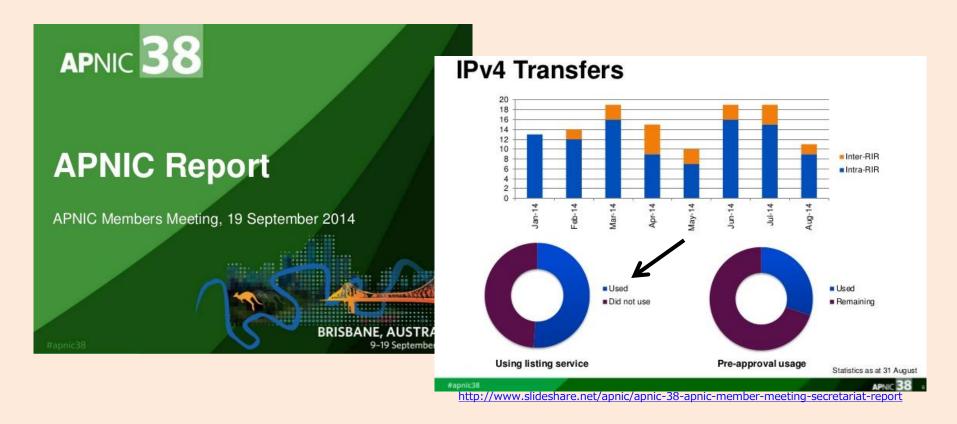
• 申請者の希望に応じて、Pre-approvalが得られている組織の**リストを公開**している

IPv4 Transfers Listing Service



- 組織名や連絡先は非公開
- APNICが問い合わせを中継、その後は組織間で

利用状況は?



- 移転した組織の約半数がListing Serviceを利用
- 「**必要な人**」を見つけることに役立っている

JPNICにお願い

• 「欲しい人」ではなく「**必要な人**」をサポートする仕組み

「移転可能IPv4アドレスサイズの通知」

- 国際移転の事前申請で通知される「移転可能アドレス サイズ」は"Pre-approved Size"と変わらない
- 現在実施されている仕組みを用いて、"Transfers Listing Service"同等サービスの実現が可能

提案のまとめ

IPv4アドレスをもっと有効活用するために、移転を容易にする施策の実施をJPNICに依頼する

メリット

•移転の促進により、IPv4アドレスの有効活用が可能となる

デメリット

・JPNICの手間が増える

その他

|•合意が得られた場合、具体的な実装方法については追ってご相談